

## 第 54 回 一之江境川親水公園を愛する会～清流よ 永遠なれ～

地域づくり活動のノウハウを地域のリーダーに直接伺い、お届けする「地域づくりキーパーソンに聞く」コーナー。

一之江境川親水公園を愛する会は、一之江境川が親水公園として再整備された平成8年に、「この清流を守り、子々孫々にまで受け継いでいくことで、心のふれあうふるさとづくり」を目的として発足し、3.2kmもの長さをもつ親水公園の自然環境の保全活動と、地域コミュニティの醸成に取り組んでいます。

今回は、一之江境川親水公園の現地において、会を代表して、後関会長並びに、前会長の金井様のお二人にお話を伺いました。

【平成23年度「手づくり郷土賞」（一般部門）受賞】

【平成20年度「第19回みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞】



【一之江境川親水公園を愛する会の後関会長（左手）並びに前会長の金井様】



東京都江戸川区



一之江境川親水公園

【～親水公園として蘇った川を次世代に引き継いでいきたい～】

昭和30年代以降、市街地の都市化に伴い生活排水が流れ込み、清流からドブ川のようになった一之江境川は、平成8年に住民参加で自然型の親水公園として現在の形に整備されました。かつて、用水や舟運に利活用されていた当時のきれいな川の姿を知る地元の方々を中心に、流域の町会・自治会18団体（会員数はなんと1万7千世帯！）が結束し、「一之江境川親水公園を愛する会」が発足されました。会の方針は、「きれいに蘇った川を、これから何世代にも渡って引き継いでいくこと」と会長はおっしゃっていました。

【継続的な活動を行う秘訣は？】

苦労している点は？と新旧両会長にお聞きしたところ、「苦労や失敗は今までに無いなあ。」とうれしそうに話されていたのが、この会の活動の充実ぶりを表しています。会長にお話をお聞きして、会の名称そのままに、一之江境川を愛していることが感じられました。そして、その思いが、多くの会員と共有されていることが、長年に渡り活動が継続されている秘訣だと思われます。

また、「自然観察会」、「秋の虫の歌声鑑賞会」等、子供だけでなく大人も参加できるイベントを多く手がけ、運営には親世代が全面的に協力し、多くの世代が楽しみながら、自然と地域に愛着を持つようになり、川を愛する気持ちが地域全体に広がっています。会長によると、「会の主役は、イベントに参加する子供たちと、同席する親世代である。」とのことでした。

さらに、お話をお聞きして感じたのが、行政と会の活動がとても良い関係にある点です。川をきれいにするという共通の目標のもと、地域全体の美化を目指し協働で活動した結果、親水公園沿川地域全体が全国で第1号となる景観法に基づく景観地区の指定を受けることとなりました。

会の活動資金にも、工夫が見られます。会費は1世帯につき年10円だけをいただいております。会員（住民）にとっては負担にならないように配慮し、イベント等の活動にも参加しやすい仕組みとなっています。ボランティアを中心に活動することにより、活動自体にあまりお金をかけない（使わない）仕組みも、継続的な活動につながっていると思われます。



【清掃活動】



【中央・一之江ふるさとまつり】

【～今後の展開～】

会長に今後の活動は？とお聞きすると、「川がある限り、会の活動は継続させる」、「活動を継続できていること自体が財産である」と話されていたのがとても印象的でした。

現在では、多くの地域住民が、散歩や通学・通勤に川沿いを利用し、自発的にゴミを拾うなど、ボランティア活動があちこちで芽生えているそうです。実際に川沿いを歩いてみると、都心の住宅街にあるとは思えないほど、ゴミ一つ落ちていない素晴らしい環境が、沿川地域全てで保たれているのには驚かされます。会の活動が、地域住民の意識に自然と受け入れられている表れでしょう。

今後の展開としては、ゆくゆくは「ホタル」が飛び交う川にしていきたいとのことです。現在の活動を継続しつつ、自然型の川を活かして、これまでよりも多くの動植物が生息する環境づくりに取り組んでいくそうです。現在でも、ボランティアが手掘りのピオトープ池をつくり、自然のあるがままの姿で生息する動植物を子供たちに見せる取り組みを行っています。

【会の代表的活動】

夏季早朝清掃（7月）

子ども会を中心に、約1,000名で川底磨き等の清掃活動を行っています。水遊びのできるジャブジャブ池では、夏休み期間中、多くの子供たちで賑わいます。



（夏季早朝清掃）



（自然観察会）

自然観察会（8月）

子供たちが川に入りながら、水生生物や昆虫などの観察を行っています。

秋の虫の歌声鑑賞会（9月）

日が暮れた後に、子供たちが集合。プロ・ナチュラリストを招き、虫の観察会を行っています。



（秋の虫の歌声鑑賞会）

**【終わりに】**

一之江境川親水公園を愛する会に携わる一人ひとりが、本当にこの川を愛し、川を守る活動を行っていることで、近隣住民にとって川が欠かすことのできない生活の一部となっており、地域コミュニティの形成に大きく貢献しています。これからも、会の活動を中心として、何世代にもわたって愛される川であり続けることでしょう。

是非、一度散策に出かけてみて下さい。